

# 西別院だより

## 謹賀新年



冬の小樽別院 鐘楼

御仏の御名となえつつ あらたまの 今年も清く 日々を送らむ

（甲斐 和里子）

※月忌参りは12月29日より1月6日までお休みしますので御了承下さい。

# ふりかえり、前進



輪番 土原 世冑

新しい年を迎えました。今年こそ弥陀の名号に生かされる年である様に念じたい。昨年は天候不順や環境汚染があり、不況と金がらみの暗い一年でありました。これはみな私達の成せる業、「上むいて唾」とはこのことであります。

世は正に科学万能で行き止まりがあることを知らず、事に突き当たってはじめて知る私であります。

英国の科学者、ファラデーが

学生への質問で「この試験管の中の液体は何かと質問し、ある学生の母親が息子のことで苦悩をうちあけて流した涙です。」と言い、

「母の涙の中には深い悲しみと、慮る心と、限りない愛情を分析するのはいかなる科学の力をもつてしてもできない」と答えました。

「愛情を受けとめるのが、宗教心である。」

お釈迦さまは自分の人生を「一切皆苦」と示され、中でも「生老病死」の四苦をあげられ、生きることが一番苦なりと言われ、会うことも、愛することも、欲することも、感ずることも、すべて苦がつきまとうものです。それ故にお念仏を通して悲しみ

や苦しみと向き合い、念仏と共に乗り越えて行く一年でありますよう念じます。

合掌

1999年(平成11年)

## 年回表

- 1 周忌 — 平成10年
- 3 回忌 — 平成9年
- 7 回忌 — 平成5年
- 13 回忌 — 昭和62年
- 17 回忌 — 昭和58年
- 25 回忌 — 昭和50年
- 33 回忌 — 昭和42年
- 50 回忌 — 昭和25年

# 別院職員紹介

一 勤務年数 1年4カ月  
 言 職 輪番 憩場、別院は我家



一 勤務年数 8カ月  
 言 職 副輪番

西川 達恵  
 40歳

早いもので小樽別院に勤務させて頂いて8ヶ月、おみのある中で一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。



一 勤務年数 18年  
 言 職 参勤

村上 隆昌  
 43歳

別院勤務も早いものでもう18年過ぎてしまいました。日々、命の尊さをあじあわせて頂いております。



一 勤務年数 3年5カ月  
 言 職 会計

武藤 三孝  
 40歳

自分自身何事にも「注意力」をもって注意散漫にならないようやっています。



一 勤務年数 5年2カ月  
 言 職 参勤

梶 純信  
 29歳

がんばります



一 勤務年数 1年  
 言 職 参勤

磯村 真一  
 ?歳

参勤だったと思う



一 勤務年数 2年6カ月  
 言 職 承仕

鬼頭 孝宗  
 25歳

冬の寒さが身に染みる今日この頃。今年も一年頑張りましょう。



一 勤務年数 1年6カ月  
 言 職 承仕

温井 卓生  
 24歳

小樽にきて、2回目の冬になりました。これからもがんばりますので、よろしくおねがいします。



一 勤務年数 7カ月  
 言 職 承仕

日野 尊行  
 28歳

いつも明るく元気に楽しくいきましよう！



## おしいただかず一回だけ

### 焼香の作法

お焼香の作法は、各宗派によって少しずつ異なっているようですが、おおむね、次の二点がポイントになっています。すなわち、一つは、つまんだお香をおしいただくかどうかということ。今一つは、お香をたく回数です。三回のところもありますし、二回のところもあり、一回もあります。

そんなわけで、自分の宗派の作法を知っていれば何でもないことなのに、知らないと案外、戸惑ったり、ぎこちなかったりします。

浄土真宗本願寺派では、「お香はおしいただかない」で「回数は一回」です。もう少し詳しく作法を述べますと――。

① 尊前（ご本尊の前）の二、三歩手前でお礼する。

② 進み寄って、まず香盒の蓋を取ってその縁にかけ、香を一回つまみ香炉に入れる。この場合、お香は額におしいただかない。また、お香をつまむ前の合掌礼は不用です。

③ 香盒の蓋をして、合掌礼拝する。

④ 礼拝が終われば、二、三步後退してお礼してさがる。

以上が基本となります。

# 蓮如上人五百回

## 遠忌法要

### 団体参拝

十一月八日(日)、小樽別院から蓮如上人五百回遠忌法要に参拝する為に、職員、門信徒合わせて四十人の方々が出発いたしました。十一月八日と十日の五泊六日の旅行でしたが、みなさん大きな怪我や病気もなく、参加して本当によかったとの声を多く戴きましたのでご紹介いたします。



本山参拝

日次	月日曜日	行	程
1	11/08 (日)	集合 本願寺小樽別院 8時15分	小樽 8:30 道央 新千歳空港 10:00 全日空134便 11:05 関西空港 13:15 連絡橋・阪和・近畿・名神 13:50 京都 16:00
2	11/09 (月)	京都………本山《蓮如上人500回遠忌法要及び参拝》	13:30頃より 昼食後《自由行動》 旅館
3	11/10 (火)	旅館	大谷本廟 8:20 石山寺 10:20 11:45 名神・北陸 吉崎別院 15:30 北陸 片山津温泉 17:30
4	11/11 (水)	旅館	兼六園 8:50 瑞泉寺(井波別院) 10:50 高参寺 12:10 瑞龍寺 13:30 魚津埋没林 16:30 宇奈月温泉 17:30
5	11/12 (木)	旅館	越中五箇山 福光 8:30 相倉合掌集落 11:00 行徳寺(赤尾道宗) 13:50 船 30分 小牧 16:00 大牧温泉 16:30
6	11/13 (金)	旅館	船 30分 小牧 8:50 富山空港 10:00 全日空377便 11:35 道央・札幌 新千歳空港 13:00 13:30 小樽 15:00



この度の蓮如上人のご法要に、参拝が出来ました事を心から感謝致します。

まだ、薄灯りの中での、お晨朝の読経につき、帰敬式が、荘厳の内に行われ、本当に身の引き締まる思いで、受式させて頂きました。

御影堂でのご法要、そしてご門主様のご法話を聞き、感動を覚えました。

又、大谷本廟でのおつとめが出来ました事は、遠い地方に居る者として、今回目的を果たしたと喜んでいきます。



吉崎別院参拝

天候にも恵まれて、皆様方と楽しく過ごさせて頂き、ありがとうございます。

山下 法子



天候に恵まれ、無事故で、楽しい旅を続けることが出来ました。圧巻は十一月九日の第十期法要でございました。早朝六時のおあさじの後、おかみそりの儀が厳修され、小樽別院が代表して即如門主様から法名を拝受いたしました。帰敬文は熊本別院代表が読み上げられました。御影堂に三千人余の門徒衆お念仏のなか、古式ゆかしく蓮如上人五百回遠忌法要が執り行われ、念仏相続の大切さを目の当たりにすることの出来た喜びに感動しました。

黒川 昭和



此の度の、蓮如上人五百回遠忌法要に本山へ参拝させて戴き、唯々頭が下

がる思いを致し、蓮如上人の遺徳を偲ばせて戴きました。

今回は最終の第十期（十一月四日、十一月十三日）に全国各地より、一日、三千数百名の方々が御参拝になられ、何か心強く感じ、然も御門主様と一緒に御念仏を申し上げる機会を得たことを、この上ない喜びと感じ、毎日の生活に励みを与えて戴きました。

その後、私たち一行は、蓮如上人の御縁の地へと、北陸地方へ出向き、各寺院と御輪番の自坊（高参寺）へ参拝させて戴き、多くの方々の温かい御出迎えに対し感謝申し上げます。

辻井富士男



本山前に向かう道にて

# 蓮如上人五百回遠忌法要御満座の消息

去る三月十四日よりお勤めしてまいりました蓮如上人五百回遠忌法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。十期百日間にわたるご法要を厳肅盛大にお勤めすることができましたのは、仏祖のご加護と上人のご遺徳は申すまでもなく、全世界に広がる僧侶門信徒の方々の御恩謝徳のご懇念のたまものと、まことに有り難く存じます。

浄土真宗は本願成就の南無阿弥陀仏の名号のはたらきによって、凡夫が仏に成る教えであります。しかも、今ここに正定聚の身となることは、生死の迷いの根本を解決し、あらゆるいのちが如来の大悲につつまれていることに気付かされ、人間同士、互いに御同朋であることを知らされることであります。そこから、人々への敬愛のころ、あらゆるいのちを大切にすることが深まり、如来のみこころにかなう生き方を志す新しい人生が生まれます。

このご法要を通して、私どもの「いのち」を育む「環境」問題や「家族」について学びました。私どもの周辺には「いのち」の尊厳を傷つける問題が山積しています。み教えを学び、お念仏を申しつつ、自らの人生の課題として、これらに取り組んでいくことが宗門のすすめています。基幹運動であります。

蓮如上人のご生涯を通じてお念願は、一人でも多くの人が阿弥陀如来の本願を信じ、お念仏を喜ぶ身になることでした。私たちは、今後、具体的な行動によってお応えいたしたいと思います。そのためには、「聴聞」とともに、お互いに意見を交わし合う「話し合い」の法座を持つことが欠かせません。さらに、み教えが広く行きわたり、次の世代へ受け継がれるよう、文章などによってお寺との交流を密接にする一方、ご本尊阿弥陀如来を中心にした家族生活の形をととのえることも大切であります。

親鸞聖人によって開かれ、蓮如上人によって広く人々のところに定着せしめられた浄土真宗のみ教えが、全世界の人々のいのちの依り所となり、こころの灯火となりますよう努めてまいりましょう。

平成十年 十一月十三日  
一九九八年

龍谷門主 釋 即如

21世紀のライフステージを創造する

特定建設業・一級建築士事務所



福島工務店

株式会社

代表取締役社長 福島正紘

本社/小樽市若松1丁目7番18号  
TEL (代)23-3542  
FAX 33-2442

土木建築請負

北海道知事許可 般後第225号  
建築事務所登録 後第129号

(株)カネタ田中組

代表取締役 田中修次

TEL 33-7575  
稲穂5-10-18

清酒・北寶・大吟醸 雪中花 醸造元

山おたなべ



販売部  
酒造部  
稲穂4-6-1

電話  
24-0101(代)  
FAX  
24-0103



家庭の味をお届けする

三升漬 にしん漬  
漬物・製造卸

北川食品株式会社

本社 047-0016  
小樽市信香町3番21号  
0134(代)3271  
工場 047-0261  
小樽市銭函3丁目508番1号  
0134 (62)1181



# ご 案 内

## 小樽別院

お晨朝 毎朝6時30分

## 常例布教

毎月7日～11日午後1時30分  
13日～16日午後1時30分

## 同 事 食

毎月8日 正午(12月・1月休み)

## 仏教青年会

毎月1回 午後7時

## 仏教婦人会

毎月27日 正午(おときあり)

## 仏教壮年会

毎月6日 午後7時

## おつとめ教室

毎月2回 火曜日午後2時

## ボーイ・カブスカウト

毎月2回 土曜日午後2時

## 日曜仏教講座

毎月第3日曜日 午前9時

## 19 日 講

毎月 19日 正午

## 各説教所の案内

- 奥沢説教所 樹心会 5日午後7時  
唯信講 10日正午
- 若竹説教所 彰心会 7日午後7時
- 緑説教所 無量講 9日午後6時
- 新光説教所 法友会 13日午後6時

朝は希望に起き

昼は努力に生き

夜は感謝に眠る

## 小樽幼稚園 園児募集中

(定員150名)

- 通園バス運行
- 年間を通じて週1回温水プール遊びをいたします。  
—教育目標—

明るく すなおな たくましい子

- 毎朝み佛さまにお参りすることを通し、宗教的情操教育を重点としています。
- 明治44年10月15日に開園し、91年の歴史をもつ幼稚園です。



別院門信徒の幼児は小樽幼稚園に!!

お問い合わせは下記に電話して下さい。

若松1丁目4番17号 ●小樽幼稚園 TEL 0134-22-6536

●小樽別院 TEL 0134-22-0744

FAX 0134-29-4080

## 園児募集

### 若竹保育所 (定員45名)

若竹町5番2号  
TEL 22-6539

- 未満児 1歳児～2歳児
- 以上児 3歳児～5歳児

### 新光保育所 (定員80名)

新光1丁目33番7号(自動車学校向小路)  
TEL 54-8145

- 乳幼児 0歳児保育
- 未満児 1歳児～2歳児
- 以上児 3歳児～5歳児



※お問い合わせは、各保育園(所)へ  
※お申し込みは、市役所児童家庭課へ  
(32-4111番)